

薬剤部だより No.149

山口大学病院薬剤部

2002.6.14

手術室の薬品管理をカート交換方式にて開始!

5月24日(金)より、手術室における薬品管理をカート交換方式にて開始しました。救急外来、血管撮影室に引き続き、手術室(9室分)の薬品を毎日チェックして、薬剤の適正使用に貢献しています。これにより、期限切れによる不良在庫の防止だけでなく、取り間違いの防止などリスクマネジメント上大きな効果が上がるものと思われま

アレビアチン細粒が10%散に切り替わります

現在、市場では抗てんかん剤アレビアチン(一般名フェニトイン)の粉状製剤として含量の異なる2製剤

アレビアチン細粒 (1g中フェニトイン970mg含有)
アレビアチン散10%(1g中フェニトイン100mg含有)

が、流通していますが、取り違えによる医療事故防止の観点から、『細粒』の販売が中止されることになりました。当院では、アレビアチン細粒のみが採用されていますが、これに伴い平成14年10月1日より一斉にアレビアチン散10%へ切り替えます。

アレビアチン細粒とアレビアチン散10%は生物学的に同等とされている反面、切り替えにより一部の患者さんで血中濃度の上昇、あるいは中毒症状の発現が報告されていることから、切り替え時は下記の点を十分ご考慮下さい。

血中濃度変動を確認するためには、切り替え前後での血中濃度の比較が必要です。その際、測定依頼が切り替え時期前後に集中すると、他薬剤のTDM業務に支障を来すおそれがあることから、症状の安定している患者さんでは時期をずらすなど、測定依頼をできるだけ分散されるよう御協力下さい。

フェニトインの急性中毒症状としては、眼振、構音障害、運動失調、眼筋麻痺等が知られています。切り替え後はこれらの症状の発現に対し一層の注意が必要です。

外来処方箋は1患者1処方として下さい!

同一診療科より同一日に1患者に対して2枚以上の院内外来処方箋がオーダされることがありますが、医事会計システムがうまく機能していないため、お薬引き換え券が患者さんにすべてわたらず、患者さんが薬を受け取らずに帰られることがあります。薬剤部でこれをチェックすることは不可能ですので、オーダの際には1患者1処方箋となるようご協力下さい。また、オーダ発行後に追加処方がある場合は、新たにオーダすることは避け、調剤室(Tel 2669)までご連絡下さい。

ガスター錠 20mg が口腔内崩壊錠に切り替わります

平成 14 年 7 月 1 日より、ガスター錠 20mg がガスター D 錠 20mg (口腔内崩壊錠) に切り替わります。当院常備薬にガスター D 錠 10mg もありますので、オーダの際には規格にご注意下さい。

院内製剤ニトロプルシッドNa を市販品に切り替えます

『院内製剤ニトロプルシッドNa (10mg)』調製中止に伴い、在庫が無くなり次第常備薬から削除致します。代替品として、ニトロプロ注(30mg/10ml/ A) を御利用下さい。

『ソフラチュール』供給停止のお知らせ

『ソフラチュール(硫酸フラジオマイシン貼付剤)』の原薬工場(フランス)において、汚染が発生したことにより、供給が一時停止することとなりました。当院には流通在庫分が優先して供給される予定ですのでオーダは可能ですが、供給量が限られているため処方量は必要最小限にして下さい。供給再開の時期は現在のところ不明です。

ジスロマック服用中の患者さんに副作用情報の提供を開始しました

No. 179 のD I 月報でお知らせしましたように、ジスロマック錠・Cap・細粒の Stevens - Johnson 症候群や中毒性表皮壊死症 (TEN) などの重篤な副作用が報告されています。これに伴いまして、5 月 31 日よりジスロマック錠・Cap・細粒を服用中の患者さんに、上記副作用の初期症状についての注意を喚起したカラーイラスト入り説明文書の提供を開始しました。



30 日投与が可能となります

抗精神病薬のジプレキサ錠 5mg, 10mg が薬価収載から 1 年が経過しましたので、平成 14 年 7 月 1 日から 30 日投与が可能となります。

平成 15 年度薬剤部研修生募集のお知らせ

下記の要領で平成 15 年度薬剤部研修生を募集します。

研修期間 : 平成 15 年 5 月上旬から 6 ヶ月間

出願期間 : 平成 14 年 9 月 30 日(必着のこと)

試験日 : 平成 14 年 10 月 21 日(月)

出願手続き等詳細は、副薬剤部長 石本(Tel 2672) までお問い合わせ下さい。